

JFEちばまつり少年軟式野球大会運営規定

- 1、大会に出場できるチームは、JFEまつり少年軟式野球大会に招待されたチームであること。
- 2、試合開始予定1時間前迄に試合会場に到着し、大会本部(各試合会場の球場責任者、以下同じ)に届ける。
- 3、試合開始予定時刻前迄に到着しない場合は、原則として放棄とみなす。(当該審判員と球場責任者で決定する)
- 4、メンバー表はフルネームを記入し、ふりがなを附して、試合場、到着後速やかに大会本部に4部提出する。
- 5、試合中ベンチに入れる人員は、選手25名、指導者は代表者、スコアラー、介護者(女性1名)を含め6名とする。(代表者の代理は認めない)
- 6、試合前の練習及びシートノック時の連盟登録指導者(チーム登録者)の手伝いは認める。但しユニフォーム着用の指導者に限る。
- 7、チーム編成は、I部6年生以下、II部5年生以下とし、ダブル登録は認めない(監督のダブル登録は認めない)
(4年生以下でのII部登録は認めない)
選手登録抹消(監督、コーチ含む)変更届けは開会式当日まで、受け付ける
- 8、試合時間はI部、II部とも1時間45分とする。(シートノックは含まない)但し1時間40分を超えたら次の回に入らない
- 9、試合はI部、II部とも7回戦とし、延長は時間内9回迄とする。但し決勝戦はこの限りでない。
- 10、延長戦で勝敗のつかない場合は、サドンデスを行う。
《例》(前回3番打者で終了の場合、4番打者から攻撃を開始する。走者は1塁に3番打者、2塁に2番打者、3塁に1番打者となる。)
通常の延長戦と同様、規則によって認められる選手の交代は許される。
サドンデスプレーを行い、勝敗の決まらないときは、再度サドンデスを行い勝敗を決す。
- 11、決勝戦はI部7回戦1時間45分、II部7回戦1時間45分とする。
- 12、点差によるコールドゲームは、I部、II部とも3回以降15点差、5回以降7点差、降雨、日没の場合は4回終了をもって試合成立とする。試合途中での降雨によるグラウンド変更は禁止する。(この場合の試合は不成立として日を改め再試合とする)
決勝戦のコールドは5回以降10点差とする
- 13、I部、II部とも塁間は23メートル、本塁から投手板までの距離は16メートル、ベースは移動ベースとする。*プレー中、ベースが元の位置から動いたとき、審判は速やかに定位置へ戻すこと。
*各グラウンドにより固定のホームプレートがあり、その限りでない。
- 14、シートノックは1チーム5分以内とし、捕手はプロテクター、レガース、ファールカップ、ヘルメットを着用する(控え捕手も必ず着用すること)ノッカーに対する背後からのボール渡しは危険防止のため、禁止する。
- 15、シートノック中はダートサークルの中には捕手以外の選手はヘルメット、面、レガースを着装した選手以外は入ってはならない。(危険防止のため)
試合前ベンチ前でのバットの素振りを禁止する(危険防止のため)
- 16、ベンチは組み合わせの若い方を1塁側とする。攻守はメンバー表提出時に決める。
- 17、背番号については、I、II部とも監督30番、コーチ29番、28番とする。
選手は主将10番とし、ユニフォームは統一する。スコアラー、チーム代表者及び介護者はベンチ入りして良い、但し選手と同一の帽子を着用すること。
*監督、コーチのスパイクは選手と同色とする。
- 18、試合中、抗議のできる者は、監督と当該選手とする。又、試合中監督が審判員の許可を得て選手に指示する場合マウンドまで歩み寄ることができる。
*タイムは攻撃時3回以内、守備時3回以内とする。
- 19、準備投球は、1回目と交代時は、**5球以内、2回目以降は3球以内**とする。但し天候等により投球数を制限することがある。

I部、II部とも、投手の投球数は15アウトとする

20、ファールボールは、1塁方向は1塁側ベンチ、3塁方向は3塁側ベンチが処理する。

攻守交替は迅速に行うこと。(時間内7回を行うため) * 2アウトになったら守備の段取りを実施する。

21、試合の記録は原則として、1塁側ベンチが記録する。

22、球場の広さ、障害物、その他の状況を考慮し、その球場の特別ルールを設けることができる。

23、応援については、チーム監督が責任をもつ。特に選手、審判等に対する野次、その他、品位を欠く言葉は厳に慎むこと。違反した場合は必要な処置をとる。

24、大会に於いて、不正行為を行ったチームへの処置。

(1)不正を行ったチームは、失格とする。

(2)試合中に発見された場合は、相手方に勝利を与える。

(3)試合終了後に発見された場合は、相手方に勝利を与える。

(4)決勝戦の場合は、準優勝チームを優勝とし、準優勝は主催者預かりとする。

25、止むを得ず棄権する場合は、試合日の5日前までに審判部長、又は事務局に届ける出ること。

26、抽選会議に欠席のチームは棄権とする。

27、大会使用球はC球とする。(対戦チームより同一球を各2個提出する)

28、審判員の遵守事項

(1)審判員は連盟指定の講習を受講し、審判員証を交付された者とする。

(2)審判員は試合中審判員章を制服の左胸に付すること。(CSJJBマーク入りはその限りでない)

(3)審判員は、9月まで半袖シャツ(10月は長袖、半袖シャツ両方持参のこと)

他の時期は協会指定の審判服、ズボンとする。

(4)審判員は、試合開始予定1時間前までに球場に到着し、試合開始前に打合せ、確認等のミーティングをすること。

(5)審判員は制服、制帽でベンチ入りする事はできない。

(6)審判員の受持ちは、ローテーションによる。

(7)主審は、指定のない限り、担当審判員の合議により適任者が行う。(但し若番チームが主審原則)

【審判ローテーション】

2試合の場合[第1試合のチームが2試合目を、第2試合のチームが第1試合を担当する]

3試合の場合[1→2、2→3、3→1]

4試合の場合[1→2、2→1、3→4、4→3]

29、ヘルメットは「JSBB」マーク入りで両側にイヤラップの付いたものを使用すること。

30、試合中、打者走者、コーチボックスの選手はヘルメットを着用すること。

* ボールボーイもヘルメットを着用すること。

31、高反発バットの使用を許可する。

32、試合をするチームは、救急箱を必ず携帯すること。又、ゴミ袋等を用意し、試合場の美化に努めグラウンドの整備も行うこと。

* ダックアウト及びグラウンド内での喫煙は禁止する。(試合中喫煙でダックアウトを出た指導者は試合中は戻る事が出来ない)

* 試合終了後のグラウンド整備は両チームで行うこと。

33、学校行事は千葉市内学校を優先、他市町村の学校行事は認めない

大会日程上の為(雨天は除く)

33、本規定は、抽選会にて参加チームの承認を得て変更することができる。

制定 平成14年7月 7日

改定 平成20年7月16日

改定 平成28年4月24日

施行 平成14年7月 7日

改定 平成24年7月 1日

改定 平成15年7月25日

改定 平成25年7月 14日

改定 平成16年7月24日

改定 平成25年10月19日

改定 平成17年7月24日

改定 平成26年6月29日

改定 平成19年7月16日

改定 平成27年6月13日